

福岡市文学館定例講座「ももちはま草紙」第90回

やま

山笠をかく(昇く/書く)

元博多っ子記者、大いに語る

7月の博多に元博多っ子で博多の生活や文化を語り継ぐ「博多を語る会」の松尾孝司さんをお迎えして、博多祇園山笠や山笠を描いた文学作品について歴史的文化的な側面から祭りの風景を読み解きます。3年ぶりの祭りを一緒に楽しんでみませんか？

日時 2022年7月2日(土)

14時~15時30分(開場13時30分)

会場 福岡アジア美術館あじびホール

福岡市博多区下川端町3-1リブレインセンタービル8階

講師 まつお たかし 松尾 孝司氏

(「博多を語る会」・元西日本新聞文化部長)

定員 60名(要事前申し込み)
好評受付中!

入場
無料



応募事項 (1)氏名 (2)郵便番号 (3)住所 (4)電話番号 をもれなく記載し、ハガキ、FAX、メール、来館(福岡市総合図書館3階事務室)のいずれかの方法でお申し込みください。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラムが変更となる場合があります。

※ご参加の際は、必ずマスクの着用をお願いします。

※申込時にいただいた個人情報は、新型コロナウイルス感染症対策のため保健所などから要請があった場合、情報を開示することがあります。

§お申し込み§

ハガキ 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1
総合図書館文学・映像課 福岡市文学館担当

FAX 092-852-0609

Email bungakukan@city.fukuoka.lg.jp

まつお たかし
講師 松尾 孝司氏

(「博多を語る会」・元西日本新聞文化部長)

昭和21年、福岡市博多区生まれ。「博多を語る会」会員。実家は、博多・櫛田神社前の飴屋さんとして知られた「太郎飴」。九州大学教育学部を卒業後、西日本新聞社に入社。飯塚、佐世保、長崎などで記者として取材活動。新聞三社(北海道・中日・西日本)連合編集部長、西日本新聞文化部長などを務めた後、平成27年3月まで田川市美術館館長。

著書に『絵筆とリラと 織田廣喜聞書』(西日本新聞社)、『技ありき夢ありき 福岡の工芸家74人』(西日本新聞社)。

講師からのメッセージ

「古代からの大陸からの玄関口、国際交流都市に息づく心意気」と関心の高い博多祇園山笠。その奥深い民俗祭事の世界を、博多に生まれ育ち、新聞記者として40余年の体験と、田川市美術館長の経験といった文化・美術の視点を通して紹介。山笠の誤解も解きながら、皆さんと山笠をたのしみます。コロナ禍、ウクライナ危機のいま、山笠から学べるものは何でしょうか？



東長寺前の清道を回る上川端通の飾り山(2015年)
(撮影:松尾孝司)



福岡市総合図書館 本の展示

定例講座に合わせて総合図書館所蔵の山笠本を集め、ご紹介しています。3年ぶりの博多祇園山笠にそなえて、予習・復習してみませんか？

・定例文学講座関連展示「山笠を書く」(貸出可能です◎)
期間:6月9日(木)~8月30日(火) 設置場所:福岡文学スペース

館内閲覧のみ

・郷土・特別資料室 郷土テーマ展示「山笠を記録する」
期間:6月1日(水)~8月30日(火) 設置場所:2階郷土・特別資料室

感染防止策チェックリスト

【第1版（令和3年11月版）】

基本的な 感染防止

① 飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底



【大声なしの場合】

飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用や大声（※）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。

（※）大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。

【大声ありの場合】

「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。

② 手洗、手指・施設消毒の徹底



こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。）。



主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施。

③ 換気の徹底



法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分間以上等）の徹底。

④ 来場者間の密集回避



入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施。



休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築。



大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保。

イベント開催時のチェックリスト

【第1版（令和3年11月版）】

開催概要

イベント名

福岡市文学館定例講座 ももちはま草紙第90回
「山笠(やま)をかく(昇く/書く) 元博多っ子記者、大いに語る」

出演者・
チーム等

講師：松尾孝司氏
（「博多を語る会」・元西日本新聞文化部長）氏

開催日時

令和4年7月2日 14時00分～15時30分

開催会場

福岡アジア美術館あじびホール

会場所在地

福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル8階

主催者

福岡市文学館

主催者
所在地

福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

主催者
連絡先

（電話番号）
092-852-0606

（メールアドレス）
bungakukan@city.fukuoka.lg.jp

収容率
（上限）

100%（※）
（大声なし）

人と人が触れ合わない
程度の距離

50%（※）
（大声あり）

十分な人と人との間隔
（できるだけ2m、最低1m）

収容人数

120人

参加人数

60人

その他
特記事項

参加者が反復・継続的に声を発することはなく、講師は通常の声量で声を発するため「大声無し」とする。

（※）大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理する。

感染防止策チェックリスト

【第1版（令和3年11月版）】

基本的な 感染防止

⑤ 飲食の制限

- 飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底。
- 飲食中以外のマスク着用の推奨。
- 長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。
- 自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討。）。

⑥ 出演者等の感染対策

- 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。
- 練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。
- 出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く。）。

⑦ 参加者の把握・管理等

- チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握。
- 入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。
- 時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。